

2

Chapter 2  
"nanoka"

ADULT  
ONLY

# 恋ニ吹ク風

恋風が吹く



どうして兄妹は  
好きになっちゃ  
いけないのかなア？

# 恋二吹ク風

2





あれから私は  
学校が夏休みと  
いう事もあり

お兄ちゃんと一緒に  
暮らしています

『お兄ちゃんに  
会いたい』

そう想いを  
募らせていた頃が  
嘘のように…



昼メシ  
作ってんのか？

うん 卵が  
あったから  
目玉焼きをね



…うーす

あつ おはよう  
お兄ちゃん





だいぶっ…七夏も  
慣れてきた…な…

うん…すごく  
気持ちいい…っ

—それ…

お兄ちゃん…  
なってるよ…  
安心できるから…

あーっ

あーっ

あーっ

お兄ちゃん  
ソコ…

ささ…

ほんとに  
このまま…

あーっ

あーっ  
あーっ  
あーっ

あーっ



しん

あ

ああっ…

うんっ…!

こ…ことうか?  
七夏…っ

そこ…  
こすれて  
いいよう…

きちやうよ

きちやうよ  
お兄ちゃ…っ!

あ…

このお母…





ずっとお兄ちゃんこ  
繋がったままで  
いたいよあ……っ

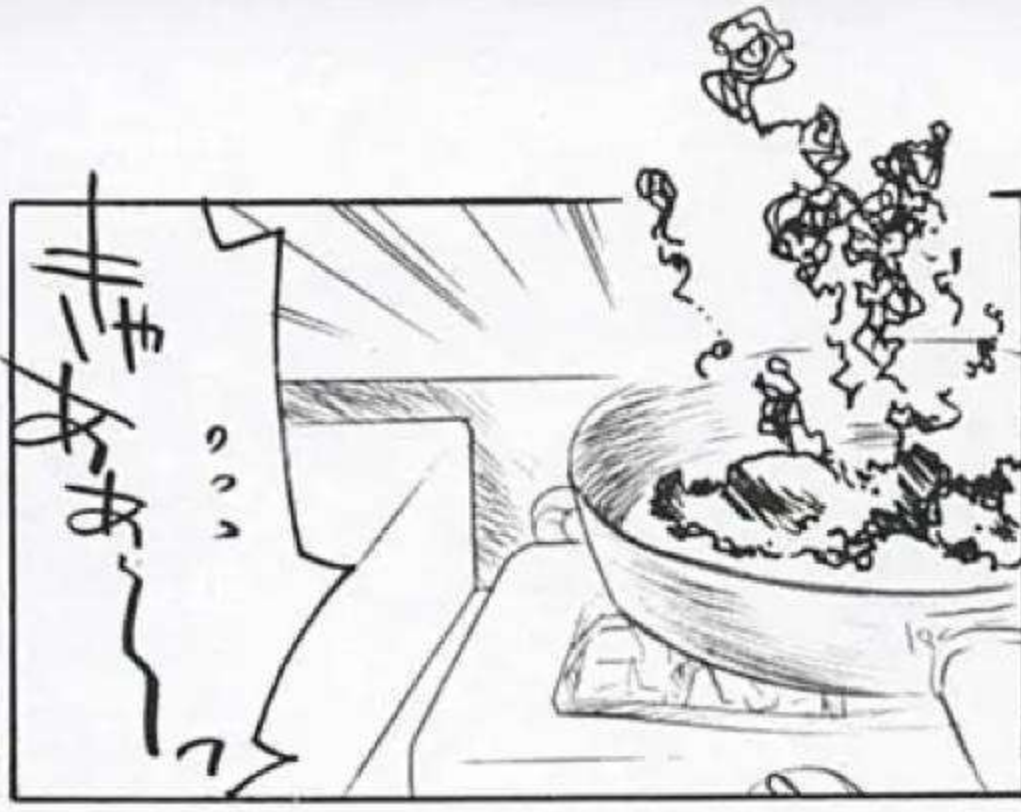


はっ……はっ

……うれしい……  
お兄ちゃんが  
トクントクンして  
私の中に  
入ってきよ……

あ……

はア……ッ



…あれ？



…料理中に  
ちよつかい  
出された  
からだもん

やべっ



おい  
この目玉焼き  
なんだかやけに  
焦げてねーか？



あゝ  
その、あの  
なんだ…

……



ほんと？  
お兄ちゃん

おう

男に二言は  
ねえぞ



今日は一緒に  
遊園地に  
行こう

な！

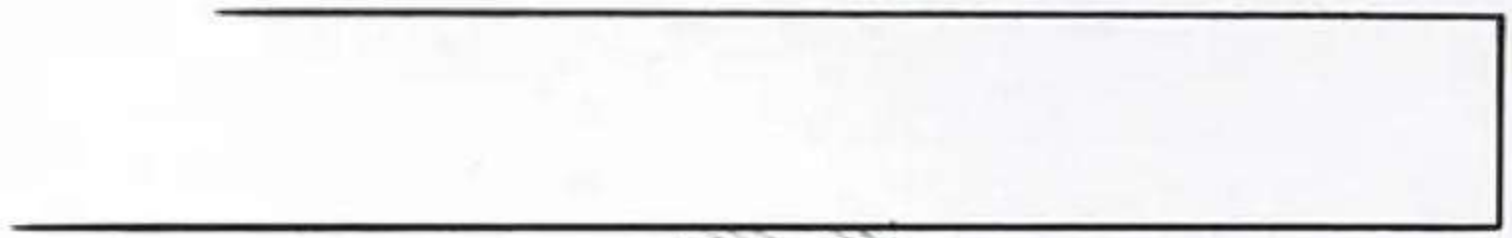
えっ…



えへへ

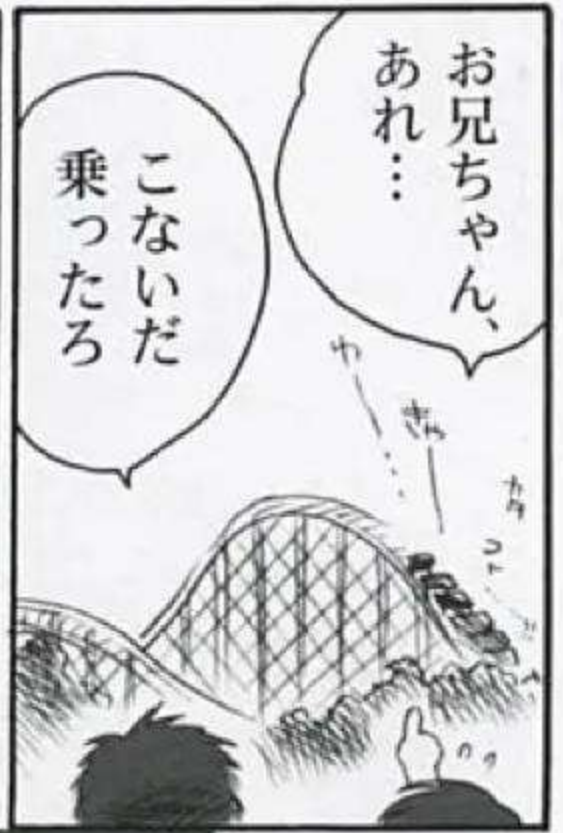
やっぱり  
お兄ちゃんは

やさしいな...



わあっ

ねー  
お兄ちゃん  
どれから  
乗ろっか!







たまには  
いいだろ

もうすぐ…  
七夏の夏休みも  
終わりだしな



いつまでも  
このままじゃ…

それって…もう  
私と暮らせ  
ないってこと？

嫌だよ…

全て捨てて  
ふたりでって…

…いつ…  
言ってた…

…いつ…



お兄ちゃんが  
一番好きっ……!



私だって  
お兄ちゃんがいたら  
なにもいらぬ



16

なっ……!  
七夏おまえ  
何をっ……!



おん……



こうすれば、  
妹じゃなくて  
恋人として  
見てくれる？

ポロリ



おい…  
七夏！  
よせつて…



……！



キーン  
キーン  
キーン

クワッ…

クワッ

くっ…！



よせつて！

おい…っ！

キーン  
キーン  
キーン

クワッ…

クワッ



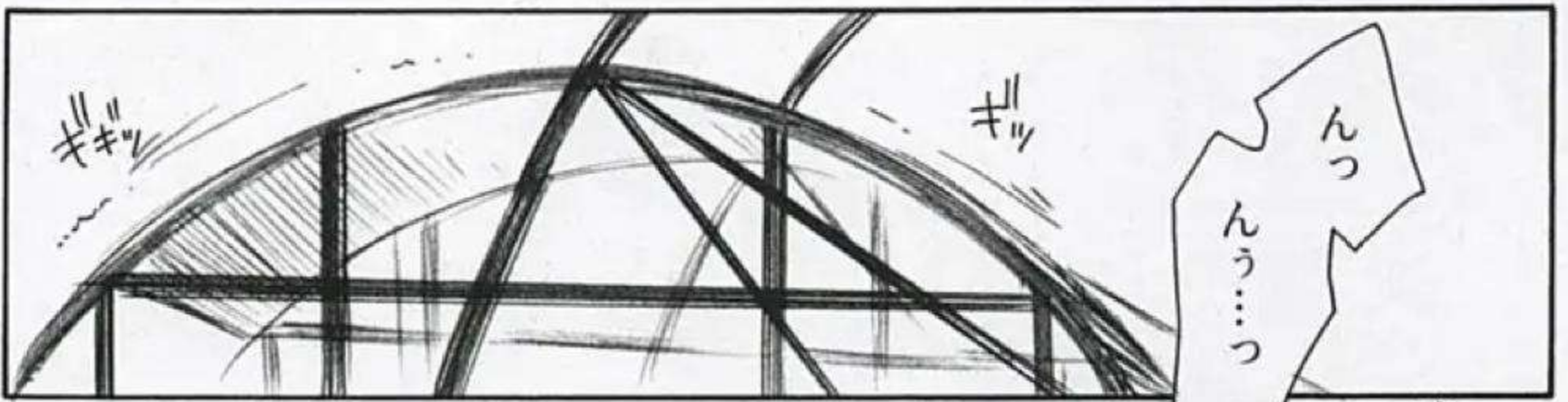
クワッ

クワッ  
クワッ  
クワッ





お兄ちゃんの  
味だあ





お兄ちゃんあん...っ

大好きいっ

すごい...よっ  
お兄ちゃんっ

いっぱい...  
ナカに入って...



好き...

だいすき...

あ...♡

あ...は...っ

はあアツ



112

112

112  
はあっ  
はあっ

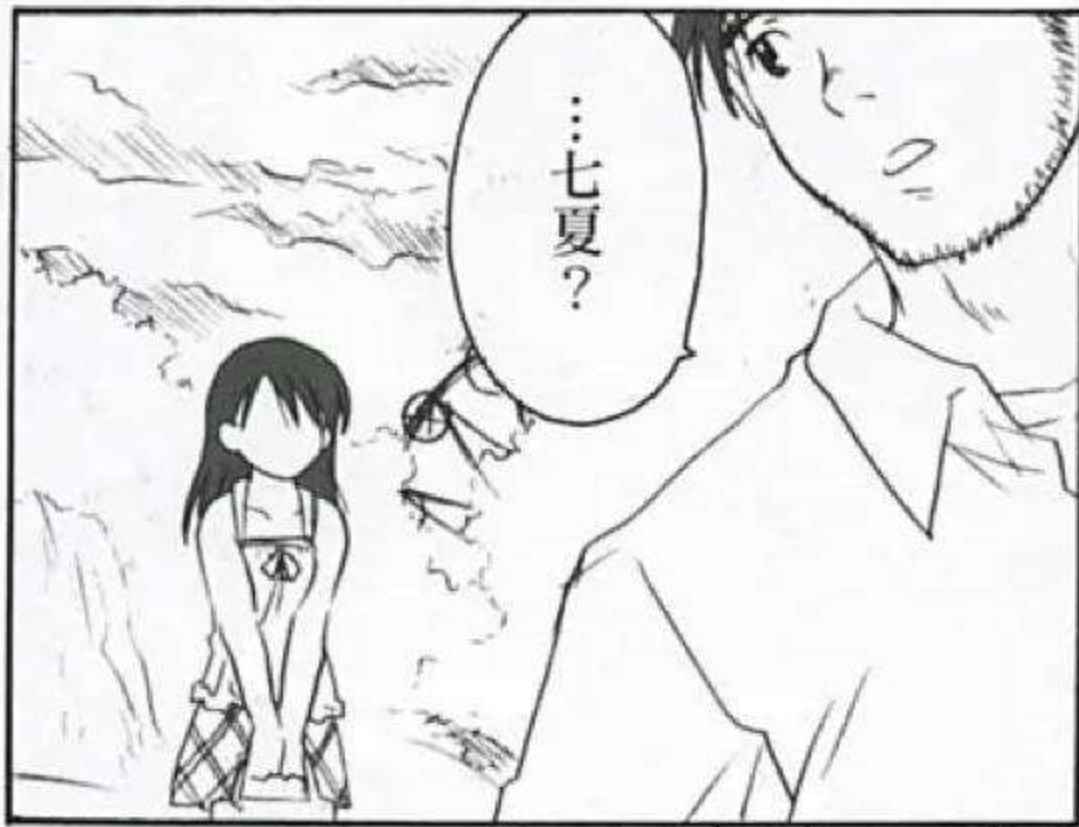
はあっ

はあっ

はあっ  
はあっ

はあっ

あ...♡



…七夏？



すっかり  
夕方だな  
どっか買物して  
帰るか？



お  
おい  
七夏！



え！？  
——私、  
先に戻るね



いくら目を  
そむけた  
振りをしても

バカ

七夏のバカ



私とお兄ちゃんが  
兄妹だという現実から  
逃げられないのに…!!



!!  
双葉ちゃん…

七夏!  
久しぶりっ  
もう、いくら  
連絡しても  
家に居ないん  
だもんー



あっ



あれ?  
なんだか七夏  
きれいになったね

…もしかして  
前に言ってた  
好きな人と  
うまくいったの?



—うん

わ、やったあ!  
よかったね  
七夏…



七夏？



兄妹だからって  
あきらめきれないよ


だって

こんなに

こんなに  
大好きなのに

お兄ちゃん

ねえ  
お兄ちゃん



お兄ちゃんも  
私と同じ気持ちだと  
思っていたんだよね…

.....to be continued Chapter3



今回の『恋二吹ク風 2』は七夏視点で描いてみました。

話の流れは4巻のラストから想定してますが、七夏の風貌は3巻辺りが色濃く出ております。それにしても可愛い七夏が描けません。まいった。原作の七夏はそれはもう可愛くてすべてがウハウハなくらいなんですよ。雪が舞うシーンでそれがもうピークに。ああでもマラソンでへばってたりとかしてるとこもたまらなく可愛いんですよ。4巻でだいぶ大人びて幼さが抜けたので、成長が嬉しくもあり寂しくもあり。要約すると七夏が可愛いんです。アニメの七夏も素晴らしいです。アニメ OP 見た瞬間に惚れてました。七夏の話ばかりですね。でも耕四郎も可愛いんですよ。お似合いの兄妹ですね。そんな可愛さを描きたかったのにまだまだ修行不足です。

原作の雰囲気大好きなので、この本はアナログで黒白のみの原稿にしようと思ってましたが、時間がとれずデータでの原稿になってしまいました。髪に色を着けるのがやっとの白い本になってしまい、申し訳ございません。しかも漫画にページを割いたものの肝心の仕上げに手をかけられず残念です。ああ…七夏の髪のツヤも入れたかったなあ。とりあえず双葉の髪の斜線だけはと思い入れちゃいました。双葉ちゃんいいね。いい親友だね。4巻の「かなしくなるじゃんかー。ばかー」のところが大好き。

アニメのDVD5巻で最終話は見ましたが、原作の最終話はどうなるんでしょうか。恋風は、兄と妹の恋愛の描写がとてもリアルで現実味があってクンクンで七夏と耕四郎の行く先がどうなるのかとても楽しみです。単行本派なので5巻発売が待ち遠しいです～。

『恋三吹ク風』はChapter3に続きます。春レヴォで続刊を出したいなあ。それでは、お読みいただきありがとうございました。

2004. 12 桜花すし

恋二吹ク風 2

発行：ぷりん横丁

発行日：2004年12月30日

印刷：大和印刷所

# 恋に吹く風 2

こいにくかぜ 2

ぷりん横丁

